事例 2

～グリーンファンドからの出資を活用した事業化事例～

地域分散型太陽光発電事業

■事業及び発電設備の概要

福島県会津地域において、設備認定合計出力1,229kWの太陽光発電設備を導入した。地域別内訳は、喜多方市岩月町に250kW、他の会津地域内に20ヶ所で計979kWである。事業主体は、会津電力や一般社団法人グリーンファイナンス推進機構等が出資し、平成25年12月に設立された「アイパワーセット株式会社」（SPC）である。（この他、会津電力単独で実施している太陽光発電事業分を含めると、合計2.33MWの出力となる。）

上記岩月町の設備（250kW）及び地域分散型設備20ヶ所の内1つは、平成26年4月1日より建設が開始された。その後、毎月数ヶ所ずつ建設が開始され、9ヶ月後に、20ヶ所全ての建設が完了し売電が開始されている。

また、平成26年3月28日～平成26年9月30日の間、同事業の資金の一部を得るため、市民ファンド（「会津ソーラー市民ファンド2014」）を募集し、9980万円（20万円×499口）の出資を得た。

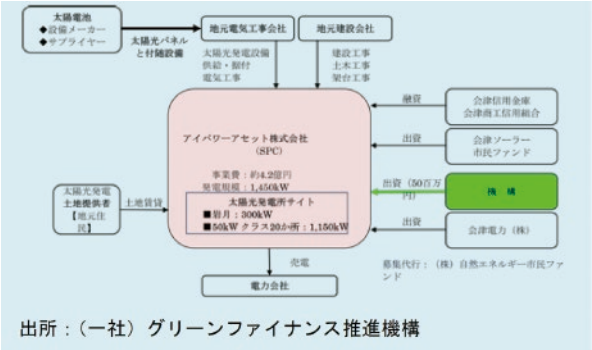
■事業実施上の課題

土地取得の問題

地域分散型設備20ヶ所の設置場所を確保するのに苦労した。当初、平成26年4月1日に1号機の建設が開始されてから4ヶ月間で20ヶ所全ての建設が完了する予定であったが、結果的に9カ月かかった。これは、候補地を実際に現地調査等をしてみると、農振地域であったり（56ページ参照）、抵当権に入っていたり、国立公園指定地域であったりして（79ページ参照）、土地選定に時間がかかったためである。

＜岩月発電所＞

■事業の実施体制



出所：（一社）グリーンファイナンス推進機構

■利用した施策と内容

環境省の「地域低炭素投資促進ファンド事業」（122ページ参照）を活用した。同制度の活用により、（一社）グリーンファイナンス推進機構より総出資額の2分の1未満の出資を受けることが可能となる。

■施策を利用したことによる事業の成果

（一社）グリーンファイナンス推進機構より出資を受けたことにより、地元金融機関（会津信用金庫、会津商工信用組合）からの融資を円滑に受けることができるようになった。

もし同制度を活用できなかった場合は、会津電力の自己資金で事業を行うことになっていたが、出資額に限度もあり、金融機関からの融資額も限られていたと考えられるため、事業規模はかなり小さくなっていたと予想される。

■問い合わせ先

会津電力株式会社

アイパワーアセット株式会社

住所：福島県喜多方市天満前8845-3

URL：http://aipower.co.jp/